

「第 73 回精神保健福祉全国大会」企画運営等実施業務委託仕様書

1 業務の名称

「第 73 回精神保健福祉全国大会」企画運営等実施業務（以下、「委託業務」という）

2 委託期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 15 日(月)まで

3 業務の目的

第 73 回精神保健福祉全国大会の開催にあたり、企画運営・会場設営・管理・撤去、午餐会の催行、記録集の発行等の業務を一元管理し、各業務の適切な連携と遂行により、円滑な大会運営を図ることを目的とする。

4 契約上限額

6, 475 千円

5 第 73 回精神保健福祉全国大会について

(1) 大会名

「第 73 回精神保健福祉全国大会」（以下、「大会」という）

(2) 大会の概要

別添「第 73 回精神保健福祉全国大会開催要綱」のとおり

・大会の参加者は 500 名程度とし、うち表彰の受賞者は 140 名程度とする。

6 会場の確保状況

(1) 2 階ホール

- ・10 月 1 日(木) 9 時～22 時
- ・10 月 2 日(金) 9 時～22 時

(2) 8 階バンケットホール

- ・10 月 2 日(金) 11 時～14 時

(3) ギャラリーC (301 号室)

- ・10 月 1 日(木) 9 時～22 時
- ・10 月 2 日(金) 9 時～22 時

(4) ギャラリーD (302 号室)

- ・10 月 1 日(木) 9 時～22 時
- ・10 月 2 日(金) 9 時～22 時

(5) 306 号室

- ・10 月 1 日(木) 9 時～22 時
- ・10 月 2 日(金) 9 時～22 時

(6) 練習室

- ・10月1日(木) 9時～22時
- ・10月2日(金) 9時～22時

7 委託業務の内容

大会を通じて精神保健福祉に関する理解を深め、正しい知識の普及と精神保健福祉の推進を図るための機会となるよう考慮するとともに、次の事項をもとに立案すること。

なお、以下の記載は委託業務の標準的仕様を示すものであり、今後の社会情勢その他の影響により、参加者予定者数や開催方法等を変更する可能性もある。その際は、第73回精神保健福祉全国大会実行委員会事務局（以下、「事務局という」）と開催手法や開催規模の変更について協議すること。

(1) 大会の設営・運営等に関すること

- ア 各会場の設営・装飾及び当日の演出（音響・照明・映像等）に関すること
- イ 大会は事前申込制とし、申込受付及び受付状況の管理（申込にかかる問合せへの対応含む）を行うこと
- ウ 受付・控室等の設置及び出演者・参加者の誘導に関すること
なお、受付は受賞者、来賓、大会関係者、一般参加者で分けること
- エ 大会全体を通して、手話通訳者及び要約筆記者を配置すること。
（手話通訳者及び要約筆記者の手配は事務局で行う）

配置人数（予定）

| | 手話通訳者 | 要約筆記者 |
|----|-------|-------|
| 午前 | 2名 | 4名 |
| 午後 | 4名 | 4名 |

手話通訳者及び要約筆記者への報酬、旅費等の支払いは、336,000円を見込むこと

- オ 司会者を手配し、大会の進行管理を行うこと
- カ 県外からの来場者に対する宿泊施設の斡旋等に関すること
- キ 大会当日の係員（手話通訳者、要約筆記者、アトラクション演者含む）の控室の確保及び昼食（弁当・飲料）の手配に関すること。必要に応じ、係員の駐車場を確保すること
- ク 報道関係者の取材エリアを確保すること
- ケ 清掃、会場の原状回復及びごみの収集・処分に関すること
- コ 台風等の災害時における運営に関すること
- サ 感染症等の流行発生時には、必要な感染防止対策を講じること
- シ その他、大会の実施に必要な準備一切（必要な費用の支払い含む）を行うこと
- ス その他、大会の円滑かつ安全な開催のために必要な工夫があれば提案すること

(2) 大会プログラムの実施に関すること

- ア 記念式典に関すること
（ア）徽章リボンを用意すること

内訳：出席受賞者（約 110 名（約 140 名の 8 割程度出席と想定）、来賓（約 3 名）、実行委員（約 25 名）、主催者（2 名）

(イ) 表彰状を入れる丸筒 (B3) を受賞人数（約 140 名）分用意すること

(ウ) 受賞者の記念品（調達、欠席者への配送含む）に関すること

なお、記念品の選定について複数の提案を行い、事務局と協議すること

イ 午餐会に関すること

以下のとおり実施する主催者等と受賞者との祝賀交流会（昼食付き）について、必要な業務を行うこと

・会場は、県民会館 8 階バンケットホールとする

・出席者は受賞者、主催者及び大会実行委員を想定（120 人程度）

(ア) 会食会場の設営及び運営に関すること

(イ) 昼食の内容がわかる設計図等を大会 1 か月前までに事務局へ提出し、承認を得ること。

(ウ) 富山県の特徴を生かした食材を入れるなど工夫すること

ウ アトラクションに関すること

(ア) 出演団体に対し、出演料等を支払うこと。なお、出演団体の選定は事務局で行う（2 団体を予定）

(イ) 出演団体の控室の確保及び昼食（弁当・飲料）の手配に関すること。必要に応じ、出演団体の駐車場を確保すること

エ 記念講演に関すること

講師：北海道大学大学院 医学研究院神経病態学分野精神医学教室
教授 加藤 隆弘 氏

演題：『幸せなひきこもり』時代の到来に向けて支援者・家族ができること
(仮)

(ア) 講師に対し、謝礼を支払うこと。なお、謝礼は 100,000 円を見込むこと

(イ) 記念講演はオンラインで実施するため、受注者において必要な機材等を手配するとともに、講師とは事前に綿密な打合せを行い、講演の円滑な実施に万全を期すること

オ シンポジウムに関すること

テーマ：誰もが安心・幸せを感じる“ウェルビーイング”を目指すとやま型地域共生社会の実現に向けて

座長：富山県心の健康センター所長 麻生 光男 氏

シンポジスト：座長のほか、支援者、当事者、行政等 5 名を予定

(シンポジストの選定は事務局で行う)

(ア) シンポジストに対し謝礼及び旅費を支払うこと。なお、シンポジストへの謝礼及び旅費は合計で 156,000 円を見込むこと

カ 物販コーナーの設置に関すること

開催日時：令和 8 年 10 月 2 日(金) 10:30～16:30

準備 9:30～10:30、撤収 16:30～

※必要に応じ、10月1日にも準備を行う

※物品の搬出入は、出店団体の負担とする

開催場所：県民会館 2階ホール前ラウンジ

出店予定団体数：6 団体程度

※出店団体は事務局で手配する

(3) 広報等に関すること

ア 印刷物の作成・配送に関すること

(ア) 大会ポスターの作成・配送に関すること

ポスターは B2、片面 4c で作成し、290 部印刷すること。なお、配送先は以下のとおり

- a 主催者（厚生労働省・日本精神保健福祉連盟） 30 部
- b 共催団体（5 団体×2 部） 10 部
- c 後援団体 70 部
- d 各都道府県 92 部（46 都道府県×2 部）
- e 県内各精神科病院・診療所 70 部
- f 県内各市町村 15 部
- g 県関係課 3 部

(イ) チラシの作成・配送に関すること

チラシは A4、4c×4c で作成し、5,000 部印刷すること。なお、配送先は以下のとおり

- a 主催者（厚生労働省・日本精神保健福祉連盟） 500 部
- b 共催団体 250 部（5 団体×50 部）
- c 実行委員会及び後援団体 2,000 部（約 70 団体×25 部）
- d 各都道府県 300 部（46 都道府県×5 部）
- e 県内各市町村 70 部（富山市除く。5 部ずつ）
- f 県内精神科病院・診療所 350 部（約 70 医療機関×5 部）
- g 県関係課 60 部（3×20 部）
- h 県内厚生センター・保健所 90 部（9×10）
- i 県内障害者事業所 1,000 部（約 200 施設×5 部）
相談支援（約 80 事業所）、就労移行支援（約 10 事業所）、就労継続支援
A 型（約 30 事業所）、就労継続支援 B 型（約 80 事業所）
- j 障害者団体 100 部（約 10 団体×10 部）
- k 市町村社会福祉協議会 約 80 部（15 市町村×5 部）
- l 予備 200 部

(ウ) プログラムの作成に関すること

来場者 500 名に配布。予備含め 700 部作成すること

(エ) 記録集の製作（企画、写真撮影、テープ起こしを含む）・配送に関すること

記録集は A4 中綴じ 4c/4c、マット紙 90kg（表紙 135kg）で作成し、800 部印刷すること。なお、配送先は以下のとおり

- a 主催者（厚生労働省・日本精神保健福祉連盟） 100 部
- b 受賞者用 140 部
- c 各都道府県 100 部（45 都道府県×2、次回開催県 10）
- d 県内市町村 15 部
- e 県関係課 30 部
- f 県内精神科病院・診療所 70 部
- g 障害者団体 20 部
- h 市町村社会福祉協議会 20 部
- i 実行委員及び後援団体 100 部
- j 講師及びシンポジスト 10 部
- k アトラクション出演団体 20 部
- l 予備 175 部

イ アーカイブ配信に関すること

（ア）大会の様子を録画・編集し、当日配布資料とともにアーカイブ動画を配信すること。なお、配布資料は県ホームページ、アーカイブ動画は富山県公式 YouTube チャンネルでの配信を想定している

（イ）アーカイブ動画配信の希望については、大会参加申込みとあわせて受付を行い、受託者において受付状況を管理すること

ウ その他広報に関すること

その他、効果的な広報施策を受注者において企画し、提案すること
（新聞広告、テレビCM、ラジオでの告知等）

（4）実行委員会経費の支払いに関すること

実行委員及び監事への謝礼・旅費の支払いを行うこと。

- ・開催回数は、年3回程度を予定している（5月、8月、3月）
- ・委員及び監事へ振込先口座を確認のうえ、各回支払うこと
- ・謝礼・旅費の計算は事務局が行う
- ・委員及び監事への謝礼・旅費は年間 580,000 円程度を見込むこと

（5）その他業務全般に関すること

ア （1）～（4）の業務の実施に必要な設備・物品の手配、設置及び撤去等を行うこと

イ （1）～（4）の業務の実施に必要な人員を配置すること（事務局が手配する人員を含む）

ウ 全体を統括する統括責任者を置くこと。原則として、事務局からの連絡等は統括責任者に対して行う

エ 当日の進行台本、会場レイアウト（出演者動線を含む）、人員体制及び緊急時対応等を含んだ運営マニュアルの素案（大枠のわかるもの）を8月上旬までに作

- 成し、事務局と協議のうえ大会 1 か月前までには承認を得ること
- オ 委託業務の実施にあたり、業務全体の詳細な工程表を速やかに作成し、事務局と協議のうえ承認を得ること
- カ 各支払いの振込手数料は委託費に含まれる

8 留意事項

- (1) 委託業務の実施においては、事務局に対して緊密に進捗状況等を報告、確認し、事務局の指示のもと必要に応じた修正を随時行うこと
- (2) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、事務局の保有とすること
- (3) 成果物については、原則として事務局が複製し、若しくは翻案、変形、改変その他の修正をすることができること。但し、制作の都合上止むを得ず、著作権等を事務局に譲渡できない写真、文章等を使用する場合は、事前に申し入れを行い、県の了解を得ること。事務局に著作権等を帰属させることができない写真、文章等の二次利用については、その都度、事務局と協議すること
- (4) 特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の対象となっている履行方法等を使用するときは、受託者がその使用に関する一切の責任を負うこと
- (5) この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて事務局と協議すること

第73回精神保健福祉全国大会開催要綱（案）

- 1 大会テーマ 幸せの実感～共に生き、共に支え合う地域共生社会の実現～
- 2 大会趣旨
社会経済環境の変化や複雑化により、こころの健康の問題を抱える方が増加しており、こころの健康は国民全体の課題となっています。また、能登半島地震や大雨被害等、自然災害が頻発するなか、改めて地域のつながりの大切さを再確認する機会となっています。
「幸せ人口 1000 万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を目指す富山県において、すべての人が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し支え合い、地域の中で共に生きる「共生社会」の実現に向け、大会を通じて精神保健福祉に関する理解を深め、正しい知識の普及と精神保健福祉の推進を図ってまいります。
- 3 開催日時 令和8年10月2日(金) 午前10時30分から午後4時30分まで
- 4 開催場所 富山県民会館ホール等（富山市新総曲輪 4-18）
- 5 主催・共催及び後援
 - (1) 主催：厚生労働省、(社)日本精神保健福祉連盟
 - (2) 共催：富山県、富山市、(社)富山県精神保健福祉協会、(社)日本精神科病院協会富山県支部、富山県精神科医会、富山県精神科病院協会
 - (3) 後援(予定)
関係団体、メディア等 50 団体程度を想定
- 6 大会実行組織
第73回精神保健福祉全国大会実行委員会

7 大会プログラム

(1) 記念式典 (10:30～11:40)

- ① 前回開催県 (鳥取県) からの引継ぎ 「心をひらく鍵」の引渡し
- ② 開会の言葉 富山県大会実行委員会会長
- ③ 式 辞 (社) 日本精神保健福祉連盟会長
- ④ あいさつ 厚生労働大臣
富山県知事
富山市長
- ⑤ 表彰 精神保健福祉事業功労者表彰
厚生労働大臣表彰
(社) 日本精神保健福祉連盟会長表彰
富山県知事表彰
富山県精神保健福祉協会会長表彰
- ⑥ 謝 辞 受賞者代表
- ⑦ 祝 辞 富山県議会議長
- ⑧ 次回開催県あいさつ

(2) 午餐会 (11:50～12:40)

(3) アトラクション (12:50～13:20)

(4) 記念講演 (13:30～14:30)

(5) シンポジウム (14:40～16:20)

(6) 閉会の言葉 (16:30)

大会実行委員会副会長

8 その他

障害者施設の物販を行います。